

科目名	単位	実務を活かした授業状況
全学共通科目		
共通学芸科目		
キャリアのための自己表現演習	1	広告会社において豊かな経験を持つ教員が、その経験と実績を生かし、実践的演習により社会人を身に付け、就職活動を乗り越え卒業後に輝く社会人になるために、適正な進路を選択する力や文章・会話による自己表現力を向上させる実践的指導を行う。
大学生活とキャリアデザインⅠ	2	女性のキャリア支援を行うNPO法人理事としての経験を持つ教員が、その経験を生かし、初年次生に対するキャリア形成に関する科目を担当する。
大学生活とキャリアデザインⅡ	2	女性のキャリア支援を行うNPO法人理事としての経験を持つ教員とキャリア支援部での実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、2年次生に対するキャリア形成に関する科目を担当する。
大学生活とキャリアデザインⅢ	2	広告会社において豊かな経験を持つ教員が、その経験と実績を生かし、「経済やビジネスの仕組み」「多様な業界とその業界の主要企業」「各業界の業務内容とビジネス構造」「各業界の現状と課題」「様々な職種とその仕事内容」「職種ごとのメリット・デメリット」などについて、進路選択やキャリアプラン作成がスムーズに進むことを目指して実践的指導を行う。
インターンシップⅠA	1	自らの興味や適性さらには自らのキャリアを展望するための就業体験科目である。事前事後指導とともに1週間程度の企業や公共団体等での実務を体験する。
インターンシップⅠB	2	自らの興味や適性さらには自らのキャリアを展望するための就業体験科目である。事前事後指導とともに2週間程度の企業や公共団体等での実務を体験する。
京都の文化に触れるA	2	京都観世会館観世流能楽師である教員が、その長年の経験及び技能を生かし、能の歴史や京都の文化との関係、能面の美術的価値と精神性、能装束と西陣との関係、楽器と日本の音楽性など、様々な角度から能を考察し、京都の文化、更に日本の文化の特質を実践的に指導する。
京都の文化に触れるB	2	和菓子の老舗において長年の経験を持つ教員が、その技能を生かし、平安時代にまでつながる文化の所産であり日本独自の食べ物として発展し、今に伝わり生活に生きている京菓子について、歴史・由来・菓子銘・意匠・色目などを検証し、宮中をはじめ茶道・神社仏閣・美術・古典芸能にも深く結びついていることを実践的に指導する。
京都の文化に触れるC	2	伝統染色の老舗での長年の経験を持つ教員が、その経験と技能を生かし、色彩をテーマとして、植物染による染色技術などにも触れながら、794年より都となった京都の地で、どのような衣服が着られ、どのような色が生み出されていったのかを歴史をふまえながら実践的に指導する。京都に色彩感、色の歴史、文化についても講義及び実技を通して指導し、最終日には工房「染司よしおか」で植物染による染色の体験も指導する。
京都の文化に触れるD	2	京都の香老舗代表取締役社長を務める教員が、その経験と技能を生かし、香の製造現場を訪問を含め、香りの文化を中心に京都の文化や日本の文化について指導する。
京都の美術史	2	美術ギャラリーでの長年の経験を持つ教員が、その技能を生かし、桃山から江戸時代にかけての京都の絵画と工芸を取り上げ、様式的、技法的な検討を加えながら近世「京都」の美術の歴史を実践的に指導する。
京都の文化A	2	江戸時代享保年間より続く伊東久重家の十三世詞である教員が人形の歴史やその成り立ち、さらに本人が御所人形作家として実際に行っている創作活動について詳しく解説する。また御所人形師の後継ぎという特殊な環境に生まれ育った自身の経験や、海外で展覧会を開催するなどの様々な体験を踏まえ、その独自の視点から京都の魅力を楽しく紹介する。
京都の文化B	2	京都観世会館観世流能楽師である教員が、その長年の経験及び技能を生かし、室町初期に大成された日本の音楽劇である能の大成の中心的存在である観阿弥、世阿弥父子は、奈良から京都に進出し、足利義満の庇護のもと、能を庶民の芸能から、より芸術性の高いものに昇華していった過程について指導する。北山文化の中で育てられた日本文化の特質が多く含まれている能の概略と表現方法を具体的に考察し、その音楽性や演出から日本文化の特性を解説する。
京都の文化C	2	京都観世会館観世流能楽師である教員が、その長年の経験及び技能を生かし、室町初期に大成された日本の音楽劇である能の大成の中心的存在である観阿弥、世阿弥父子が、奈良から京都に進出し、足利義満の庇護のもと、能を庶民の芸能から、より芸術性の高いものに昇華していった過程を指導する。日本文化の特質が多く含まれている能の様々なレパートリーを取り上げ、そこにある思想や美意識を考察し、日本文化の一端を知ることによって、国際社会の中での日本人のあり方を解説する。
計	26	
キリスト教・同志社関係科目		
近代日本と同志社A	2	日本基督教団の牧師である教員が、米国カリフォルニア州ウェスレー合同メソジスト教会副牧師としての経験と実績をも生かし、優れた人材を社会に送り出してきました同志社における新島襄・八重夫妻のかかげた建学の精神と教育理念の卓越性と普遍性について具体的に解説。その建学の精神と教育理念を学ぶことによって、同志社だから行うことのできた教育、それが他の教育機関とどれほど違いがあったのかを具体的に探る。同志社がこれからの社会・世界に対して、どのように貢献していけるのかを考えていく。
キリスト教世界の探究C	2	日本基督教団の牧師としての経験を持つ教員が、その経験を生かし、女性の生き方をキリスト教を通して考える授業を担当する。
キリスト教文化論C	2	日本基督教団の牧師としての経験を持つ教員が、その経験を生かし、キリスト教が近代日本の社会と文化に与えた影響を考える授業を担当する。
計	6	
スポーツ・健康科目		
食物と健康	2	自らも長距離選手であった経験やアスリートの栄養サポートで、五輪・世界選手権などに帯同した経験を持つ教員が、その経験を生かし、食物と健康について運動との関連も交えて指導する。
ウェルネス健康論	2	公的機関や民間の講座等での講師の経験を持つ教員が、その経験を生かし、ウェルネスの理論と実践に関する科目を担当する。
計	4	

科目名	単位	実務を活かした授業状況
学芸学部		
音楽学科演奏専攻		
専門実技Ⅰ（チューバ）	3	京都市交響楽団員の経験を有する教員が、その長年の経験を生かし、音楽に対する積極的な姿勢を養うとともに、感性を磨き、音楽的理解を深め、表現技術を高める実践指導を行う。
専門実技Ⅰ（ユーフォニアム）	3	大阪市音楽団員の経験を有する教員が、その長年の経験を生かし、音楽に対する積極的な姿勢を養うとともに、感性を磨き、音楽的理解を深め、表現技術を高める実践指導を行う。
専門実技Ⅰ（ハーブ）	3	京都市交響楽団員の経験を有する教員が、その長年の経験を生かし、音楽に対する積極的な姿勢を養うとともに、感性を磨き、音楽的理解を深め、表現技術を高める実践指導を行う。
専門実技Ⅰ（ファゴット）	3	京都市交響楽団員の経験を有する教員が、その長年の経験を生かし、音楽に対する積極的な姿勢を養うとともに、感性を磨き、音楽的理解を深め、表現技術を高める実践指導を行う。
通奏低音奏法研究	2	チェンバロ、ピアノ教室の主宰者としての長年の経験を有する教員が、その経験を生かし、通奏低音の視点からバロック室内楽曲の特徴、様式、奏法について実践的に指導する。
リトミックA	1	NPO法人リトミック研究センター付属教員養成校において長年のリトミック教員養成に携わった教員が、その経験を生かし、音・音楽の様々な基礎的な音楽項目やニュアンスを、身体を使って習得し、表現やコミュニケーション力の実践的基礎トレーニングをする。
リトミックB	1	NPO法人リトミック研究センター付属教員養成校において長年のリトミック教員養成に携わった教員が、その経験を生かし、音・音楽の様々な基礎的な音楽項目やニュアンスを、身体を使って習得し、表現やコミュニケーション力の実践的基礎トレーニングをする。
音楽心理学	2	ATRの研究員であった教員が、その経験を生かし、人間の聴覚の基礎的理解を主眼として音とは何かをその物理的側面と心理的側面を合わせて理解するための基礎知識について講義する。
舞台表現基礎Ⅰ	2	劇団で俳優、声優の経験のある教員が、その経験を生かし、「演技」をキーワードに、様々な舞台表現形態の世界への導入となるよう実践的に指導する。
舞台表現基礎Ⅱ	2	劇団で俳優、声優の経験のある教員が、その経験を生かし、「演技」をキーワードに、様々な舞台表現形態の世界への導入となるよう実践的に指導する。
ロックミュージック	2	音、光、映像、造形、Webなどをミックスして展示会やコンサートを企画する企業に所属する教員が、その経験を生かし、ロックミュージックが生まれた背景やロックミュージックとはどのようなものかを講義する。
ミュージックマネージメントA	2	音、光、映像、造形、Webなどをミックスして展示会やコンサートを企画する企業に所属する教員が、その経験を生かし、音楽プログラムの企画立案を講義と演習で指導する。
ミュージックマネージメントB	2	音、光、映像、造形、Webなどをミックスして展示会やコンサートを企画する企業に所属する教員が、その経験を生かし、音楽プログラムの企画立案を講義と演習で指導する。
計	28	
音楽学科音楽文化専攻		
リトミックA	1	NPO法人リトミック研究センター付属教員養成校において長年のリトミック教員養成に携わった教員が、その経験を生かし、音・音楽の様々な基礎的な音楽項目やニュアンスを、身体を使って習得し、表現やコミュニケーション力の実践的基礎トレーニングをする。
リトミックB	1	NPO法人リトミック研究センター付属教員養成校において長年のリトミック教員養成に携わった教員が、その経験を生かし、音・音楽の様々な基礎的な音楽項目やニュアンスを、身体を使って習得し、表現やコミュニケーション力の実践的基礎トレーニングをする。
臨床の医学A	2	耳鼻咽喉科の院長である教員が、その経験を生かし、症例を通してこころとこころの病について講義を行う。
臨床の医学B	2	国立京都病院の呼吸器科医長の経験を持つ教員が、その経験を生かし、癌患者の想いを理解するとともに死を通して生を考える講義を行う。
音楽心理学	2	ATRの研究員であった教員が、その経験を生かし、人間の聴覚の基礎的理解を主眼として音とは何かをその物理的側面と心理的側面を合わせて理解するための基礎知識について講義する。
舞台表現基礎Ⅰ	2	劇団で俳優、声優の経験のある教員が、その経験を生かし、「演技」をキーワードに、様々な舞台表現形態の世界への導入となるよう実践的に指導する。
舞台表現基礎Ⅱ	2	劇団で俳優、声優の経験のある教員が、その経験を生かし、「演技」をキーワードに、様々な舞台表現形態の世界への導入となるよう実践的に指導する。
ミュージックマネージメントA	2	音、光、映像、造形、Webなどをミックスして展示会やコンサートを企画する企業に所属する教員が、その経験を生かし、音楽プログラムの企画立案を講義と演習で指導する。
ミュージックマネージメントB	2	音、光、映像、造形、Webなどをミックスして展示会やコンサートを企画する企業に所属する教員が、その経験を生かし、音楽プログラムの企画立案を講義と演習で指導する。
ロックミュージック	2	音、光、映像、造形、Webなどをミックスして展示会やコンサートを企画する企業に所属する教員が、その経験を生かし、ロックミュージックが生まれた背景やロックミュージックとはどのようなものかを講義する。
ミュージックセラピー実習Ⅰ	2	日本音楽療法学会認定音楽療法士及び全国音楽療法士養成協議会認定音楽療法士に係る音楽療法に関する学外での実習科目であり、実践的教育科目である。
ミュージックセラピー実習Ⅱ	2	日本音楽療法学会認定音楽療法士及び全国音楽療法士養成協議会認定音楽療法士に係る音楽療法に関する学外での実習科目であり、実践的教育科目である。
ミュージックセラピー実習Ⅲ	2	日本音楽療法学会認定音楽療法士及び全国音楽療法士養成協議会認定音楽療法士に係る音楽療法に関する学外での実習科目であり、実践的教育科目である。
計	24	
メディア創造学科		
ITビジネス研究	2	最先端の情報通信技術の研究者兼、企業の経営スタッフである教員が、その経験を生かし、イノベーションとビジネス実践の手法について講義を行う。
情報倫理	2	N T T 研究所研究員である教員が、その経験を生かし、実際の直近事例を基に情報倫理と社会状況について講義を行う。
広告プランニング	2	広告代理店のコピーライターである教員が、ひその経験を生かし、とつの広告が生まれるまでの具体的な流れや創作方法について演習形式で実践的に指導する。
プロデュース論B	2	毎日放送のディレクターの経験を有する教員が、その経験を生かし、ある物事のプロデュース手法を具体的実践を通して指導・演習する。
インターンシップⅡ	2	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを2週間程度体験し学ぶ科目である。専任教員が実習先と共同で実習内容を調整し、事前事後指導にもかかわる。
ヒューマンインタフェース論	2	N E C の技術者としての経験を有する教員が、その経験を生かし、人と情報機器、相互の関係およびそのデザインについて講義する。
計	12	

科目名	単位	実務を活かした授業状況
国際教養学科		
インターンシップⅡ	2	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを2週間程度体験し学ぶ科目である。専任教員が実習先と共同で実習内容を調整し、事前事後指導にもかかわる。
International Journalism/ 国際ジャーナリズム論	2	朝日新聞社の記者の経験のある教員が、その経験を生かし、メディアと移民について日本国内のジャーナリズムなどを通して講義・演習を行う。
Inbound Tourism/ インバウンド観光論	2	航空会社での勤務経験のある教員が、その経験を生かし、海外からの観光客を増やす有効な政策について講義を行う。
計	6	
現代社会学部		
社会システム学科		
インターンシップⅡ	2	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを2週間程度体験し学ぶ科目である。専任教員が実習先と共同で実習内容を調整し、事前事後指導にもかかわる。
考古学Ⅰ	2	博物館での勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、考古学の理論、方法、学史を講義する。
心理臨床学	2	心理カウンセラー（臨床心理士）の経験と資格を有する教員が、その経験を生かし、心理アセスメントや心理療法の技法の具体例をあげながら、心理臨床の実際を講義する。
カウンセリング論	2	公認心理師・臨床心理士の資格を有する教員が、臨床現場での経験を基に、カウンセリングの理論、カウンセリングを行ううえでの基本的な態度、カウンセリングの基本的な技法を講義する。
生涯学習論	2	生涯学習に関連する公務員としての勤務経験のある教員が、その経験を生かし、生涯学習・社会教育の概念、法制度・行政、職員、事業、施設の概要について講義する。
宗教と人間	2	日本基督教団の牧師としての経験を持つ教員が、その経験を生かし、各宗教の理解を促し平和・非暴力・命の尊重について講義する。
証券キャピタルマーケット論	2	15回の授業の内の8回において野村証券の社員がそれぞれの責任部署での経験を通して金融・証券市場及び資産管理について理論と実践を指導する実践的授業である。本学専任教員が全体をコーディネートする。
計	14	
現代こども学科		
ユニセフとこども支援	2	ユニセフでの勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、ユニセフの組織、政策の変遷、活動内容、各国政府・NGO・企業・市民との関係などについて講義する。
身体表現	2	演劇教育者、俳優トレーナー、演出家、俳優である教員が、その職能と経験を生かし、演劇の演技者のためのレッスンを主な方法として、演習（エクササイズ、ゲームあそび等）、体験の言語化（ふりかえり）を積み重ね、他者と協働しての作品創作、試演（教室発表）を実践的に指導する。
ボランティア活動論	2	クラシック演奏会の点字プログラム作成ボランティア経験やインドのスラムに住む子どもたちのために学校を設立した団体の代表としての経験を有する教員が、その経験を生かし、ボランティア活動の現実を紹介しながら、現場で起こる諸問題について講義する。
教育の歴史	2	京都府総合教育センター教育相談指導員及び城陽市教育委員会歴史民俗資料館で経験を持つ教員が、その経験を生かし、子供を取り巻く環境等様々な変化や諸課題を解説し、これからの教育の在り様を考察するためにこれまでの教育を具体的実践的に指導する。我が国における近現代の学校教育の歴史について紹介し、今日に至るまでの経緯について理解した上でこれからの教育について考察する基礎的な力を培う指導も行う。
インターンシップⅡ	2	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを2週間程度体験し学ぶ科目である。専任教員が実習先と共同で実習内容を調整し、事前事後指導にもかかわる。
幼児音楽	2	幼稚園教諭、保育士として現場での音楽指導経験を有する教員が、その経験を生かし、幼児への音楽指導方法を実践的に指導する。
算数科指導法	2	教育現場での指導経験を有する教員が、その経験を生かし、算数科の授業づくりの方法について実践的な授業を行う。
社会科指導法	2	教育現場での指導経験を有する教員が、その経験を生かし、小学校社会科の授業実践と社会科教育の課題について実践的な授業を行う。
幼児教育指導法総論	2	幼稚園教諭の経験を有する教員が、その経験を生かし、実践的な幼児教育指導法を行う。
特別支援教育	2	特別支援学校教諭の経験を有する教員が、その経験を生かし、特別支援教育について実践的な授業を行う。
保育実習ⅠA	2	保育士に係る保育所での2週間の基礎的実習科目であり、実践的教育科目である。
保育実習ⅠB	2	保育士に係る児童福祉施設等での2週間の基礎的実習科目であり、実践的教育科目である。
保育実習Ⅱ	2	保育士に係る保育所での2週間の発展的実習科目であり、実践的教育科目である。
初等教育実習A	5	教育職員免許状に係る実習校での実習科目であり、実践的教育科目である。
計	31	

科目名	単位	実務を活かした授業状況
薬学部		
医療薬学科		
インターンシップⅡ	2.0	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを2週間程度体験し学ぶ科目である。専任教員が実習先と共同で実習内容を調整し、事前事後指導にもかかわる。
臨床薬剤学Ⅰ	1.5	病院薬剤師として勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、個々の患者に適した薬物療法を提案・実施・評価する方法を解説する。
臨床薬剤学Ⅱ	1.5	病院薬剤師として勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、薬物療法の基本と薬剤師が果たすべき有効性・安全性向上への職能発揮のあり方について解説する。
院内感染対策特論	1.0	病院薬剤師として勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、感染症の予防ならびに治療に果たす薬剤師の役割について講義する。
調剤学Ⅱ	1.5	病院薬剤師として勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、処方箋の書式、副作用の察知に向けた初期症状、入院患者ならびに在宅患者への服薬指導等を講義する。
製剤学	1.5	病院薬剤師として勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、薬物が製剤化され医薬品となり臨床使用される過程や臨床現場で使用される特殊製剤について講義する。
微生物学	1.5	国立感染症研究所の研究者として勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、微生物の特徴と性質や病原性微生物の各論、病原性微生物に対する化学療法の基本について講義する。
免疫・感染症学	1.5	国立感染症研究所の研究者として勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、微生物感染に反応する生体の仕組み等について講義する。
薬剤管理指導特論	1.0	現役薬剤師及び病院薬剤師として勤務経験を有する教員2名が、その経験を生かし、様々な疾患における薬剤管理指導の実際を講義する。
臨床薬理学特論	1.0	現役薬剤師及び病院薬剤師としての勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、模擬症例への作用・副作用などを考慮した薬剤の選択方法について講義する。
臨床栄養学特論	1.0	病院薬剤師として勤務経験を有する教員が、その経験を生かし、基礎薬学に基づく臨床栄養について講義し、チーム医療の中での薬剤師の役割を解説する。
病院実務実習	10.0	2か月半の学外での実務実習科目である。病院薬剤師業務の実体験を通じて、大学講義と実務医療の知識及び技術をつなげるとともに、医療に対する真摯な態度を修得する。病院の薬剤師が指導するが、専任教員も巡回指導を行う。
薬局実務実習	10.0	2か月半の学外での実務実習科目である。保険薬局において、実習態度、保険薬局での調剤業務の流れ、処方せんの受付、服薬指導の実践実習を行う。保険薬局の薬剤師が指導するが、専任教員も巡回指導を行う。
計	35.0	
看護学部		
看護学科		
公衆衛生看護学概論	2	京都府保健所等での保健師としての経験などを持つ教員が、その経験を生かし、公衆衛生看護学の概念、目的、対象と方法、活動の場の特性、地域包括支援システムにおける看護職の役割を学ぶ「公衆衛生看護学概論」について担当する。
国際看護活動論	1	京都府公立小中学校での養護教諭としての経験やセネガル共和国における母子保健活動、南アフリカ共和国でのエイズ対策活動の経験を持つ教員が、その経験を生かし、主に途上国を対象とした国際保健・看護協力を展開するための基礎となる力を身につけ、異文化背景を持つ対象者を看護するための知識を学ぶ「国際看護活動論」を担当する。
ウイメンズヘルス援助論A	1	京都市立病院産婦人科病棟での助産師としての経験を持つ教員が、その経験を生かし、妊娠・分娩期における女性の心身の健康の保持増進に関する知識と技術の習得を目指す「ウイメンズヘルス援助論A」について担当する。
高齢者看護援助論A	1	聖路加国際病院での看護師としての経験を持つ教員が、健康長寿を考え、高齢者の安心・安全な暮らしへの支援、生活機能低下の予防・回復への看護を学ぶ「高齢者看護援助論A」について担当する。
在宅看護援助論A	1	看護師や保健所保健師の経験を持つ教員が、その経験を生かし、在宅療養者と家族の療養生活を支える看護について学習し、施設内看護との相違や在宅療養の意義、本人・家族の意向を尊重した看護援助等を理解し、住み慣れた自宅で最期まで過ごすための看護の基本を学ぶ「在宅看護援助論A」を担当する。
基礎看護学実習Ⅰ	1	看護師に係る病院での1週間の実習科目であり、実践的教育科目である。
基礎看護学実習Ⅱ	2	看護師に係る病院での2週間の実習科目であり、実践的教育科目である。
成人急性期看護学実習	3	病院での3週間の実習科目であり、実践的教育科目である。
成人慢性期看護学実習	3	病院での3週間の実習科目であり、実践的教育科目である。
小児看護学実習	2	病院や市町村などでの実務経験を有する教員が2週間の実践的教育科目（臨地実習科目）を担当する。
ウイメンズヘルス実習	2	病院や地域等での実務経験を有する教員が2週間の実践的教育科目（臨地実習科目）を担当する。
高齢者看護学実習	3	病院や介護保険施設等での実務経験を有する教員が3週間の実践的教育科目（臨地実習科目）を担当する。
在宅看護学実習	2	病院や保健所等での実務経験を有する教員が2週間の実践的教育科目（臨地実習科目）を担当する。
看護実践総合実習（アドバンス）	3	医療機関での実務経験を有する教員が3週間の実践的教育科目（臨地実習科目）を担当する。
計	27	

科目名	単位	実務を活かした授業状況
表象文化学部		
英語英文学科		
インターンシップII	2	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを2週間程度体験し学ぶ科目である。専任教員が実習先と共同で実習内容を調整し、事前事後指導にもかかわる。
舞台芸術文化論	2	現役能楽師である教員が、その経験を生かし、日本の伝統芸能のひとつである「能」の表現と形式を解説し、発表・討論を通して「能」が現代に生きる舞台芸術であることの理解を深める指導をする。
翻訳法Ⅲ	2	旅行社外国人旅行部通訳ガイドや県警専属通訳の経験が豊富な教員が、その経験を生かし、文化の違い、思考の違い、価値観の違いに留意しながら、原文の翻訳を実践指導をするとともに、プロの翻訳家の翻訳との徹底した比較分析などをグループディスカッションなどを通し実践的に指導する。
翻訳法Ⅳ	2	旅行社外国人旅行部通訳ガイドや県警専属通訳の経験が豊富な教員が、その経験を生かし、文化の違い、思考の違い、価値観の違いに留意しながら、原文の翻訳を実践指導をするとともに、プロの翻訳家の翻訳との徹底した比較分析などをグループディスカッションなどを通し実践的に指導する。
プロフェッショナル通訳法	2	実務翻訳者である教員が、その経験を生かし、通訳訓練メソッドの目的、効用を理解した上で、実践的な音声教材を用い通訳パフォーマンスを指導する。
通訳法Ⅰ	2	実務翻訳者である教員が、その経験を生かし、通訳訓練メソッドの目的、効用を理解した上で、実践的な音声教材を用い通訳パフォーマンスを指導する。
通訳法Ⅱ	2	実務翻訳者である教員が、その経験を生かし、通訳訓練メソッドの目的、効用を理解した上で、実践的な音声教材を用い通訳パフォーマンスを指導する。
エアラインイングリッシュ	2	客室乗務員・及び同教官の実務経験のある教員が、その経験を生かし、航空業界を目指す学生に、基本的な業務知識、文化的背景およびエアラインに求められるホスピタリティマインド、実践的なエアライン英語/英会話コミュニケーションなどについて解説する。
計	16	
日本語日本文学科		
朗読	2	静岡放送及びフリーアナウンスの経験を持つ教員が、その経験を生かし、朗読、スピーチやフリートークなどにより「自分の語り」について指導する。
演劇と演技Ⅰ	2	演劇教育者、俳優トレーナー、演出家、俳優である教員が、その職能と経験を生かし、演劇と演技について体験学習の形式で授業を行う。
演劇と演技Ⅱ	2	演劇教育者、俳優トレーナー、演出家、俳優である教員が、その職能と経験を生かし、演劇と演技について体験学習の形式で授業を行う。
アナウンス論	2	読売テレビアナウンス部での勤務経験を持つ教員が、その経験を生かし、「伝える」アナウンス技術の会得と自己表現力を指導する。
コピーライティング	2	広告代理店でのコピーライターとしての勤務経験を持つ教員が、その経験を生かし、広告とコピー制作の基礎を指導し、想いを凝縮する難しさ楽しさについて実践的に授業する。
編集技術Ⅰ	2	フリーランスの編集者として活動経験を有し、著書、書籍の制作を行っている教員が、その経験を生かし、学生自身が企画・編集し、1年をかけて紙媒体の雑誌などを制作することを指導する。
編集技術Ⅱ	2	フリーランスの編集者として活動経験を有し、著書、書籍の制作を行っている教員が、その経験を生かし、学生自身が企画・編集し、1年をかけて紙媒体の雑誌などを制作することを指導する。
メディアと表象文化	2	読売テレビ放送に勤務している教員が、その経験を生かし、テレビ番組、コマーシャル映像を例にとり、影響・効果を多角的に指導する。
計	16	

科目名	単位	実務を活かした授業状況
生活科学部		
人間生活学科		
住居デザイン実習	1	建築士としての実務経験を有する教員が、その経験を生かし、住居の設計、パース作図、模型製作等を指導する。
空間デザイン応用実習	1	建築士としての実務経験を有する教員が、その経験を生かし、建築物の模型製作を指導し、街づくりに関わる建築設計のプロセスを教える。
生活経営学	2	生活関連製品の仕入れ業務や消費生活アドバイザーの経験を持つ教員が、その経験を生かし、生活経営に関する授業を担当する。
消費者教育論	2	生活関連製品の仕入れ業務、消費生活アドバイザー、個人輸入アドバイザーの経験を持つ教員が、その経験を生かし、消費者問題、消費者教育に関する授業を担当する。
親子関係の心理学	2	初等教育教諭の経験を持つ教員が、その経験を生かし、子どもの発達過程における親子関係、家族関係に関する授業を担当する。
子ども心理学	2	初等教育教諭の経験を持つ教員が、その経験を生かし、教育現場の実情に触れながら、子どもの発達と教育に関わる心理学を講義する。
インターンシップⅡ	2	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを2週間程度体験し学ぶ科目である。専任教員が実習先と共同で実習内容を調整し、事前事後指導にもかかわる。
計	12	
食物栄養科学科食物科学専攻		
京の料理と菓子	2	享和元年創業料理旅館「近又」代表取締役（7代目主人）であり、料理の専門家である教員が、その経験と技術を生かし、京の料理と菓子についての授業を行う。
食生活論	2	料理講師の経験を持つ教員が、経験を生かして、食生活に関する科目を担当する。
食品分析化学実験	2	製薬会社開発部での化学分析を用いた実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、食品分析の分野の実験科目を担当する。
食品分析化学	2	製薬会社開発部での化学分析を用いた実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、食品分析の分野の科目を担当する。
インターンシップⅡ	2	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを1、2週間程度体験し学ぶ科目である。専任教員が実習先と共同で実習内容を調整し、事前事後指導にもかかわる。
計	10	
食物栄養科学科管理栄養士専攻		
臨床病態学Ⅰ	2	医師としての勤務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床病態学について指導する。
臨床病態学Ⅱ	2	医師としての勤務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床病態学について指導する。
臨床病態学Ⅲ	2	医師としての勤務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床病態学について指導する。
臨床病態学実習	1	医師としての勤務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床病態学実習を指導する。
臨床栄養学Ⅰ	2	病院管理栄養士としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床栄養学を指導する。
臨床栄養学Ⅲ	2	病院管理栄養士としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床栄養学を指導する。
臨床栄養学Ⅳ	2	病院管理栄養士としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床栄養学を指導する。
臨床栄養学実習A	2	病院管理栄養士としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床栄養学実習を指導する。
給食の運営（校外実習）	1	管理栄養士国家試験受験に係る学外での実習科目であり、実践的教育科目である。
臨床栄養学実習Ⅰ（臨地実習）	1	管理栄養士国家試験受験に係る学外での実習科目であり、実践的教育科目である。
臨床栄養学実習Ⅱ（臨地実習）	1	管理栄養士国家試験受験に係る学外での実習科目であり、実践的教育科目である。
公衆栄養学実習（臨地実習）	1	管理栄養士国家試験受験に係る学外での実習科目であり、実践的教育科目である。
給食経営管理実習（臨地実習）	1	管理栄養士国家試験受験に係る学外での実習科目であり、実践的教育科目である。
計	20	